

当该校では、ICTを活用して思考を可視化し、対話・協働を重視した授業づくりを研究しています。各教科でICTをツールとして活用した授業が展開されています。

【実践例】第3学年社会 歴史的分野 単元名「二度の世界大戦と日本」

①前時まで、第二次世界大戦へのターニングポイントについての**各自の考えをコラボノートのシートにまとめてあります。**

※この時点では、他の生徒のシートは見ることはできません。

②教師が**大型モニターに生徒のコラボノートのシートを比較したもの**を提示し、本時のめあてを明確にします。

めあて「日本が戦争に突入していったターニングポイントを考えよう」

③シートをもとに小グループで各々の意見を伝え合い、議論し、考えを深める活動をしました。自分のシートがあるため、自分の意見の根拠を明確に相手に伝えられます。シートには、新しい考えの追加（上書き）も可能です。

④グループ活動の後からは、生徒は**他のグループの生徒のシートも見ることができます。**様々な考えに触れることで、新たな気づきを得たり、自身の考えを深めたりすることができました。

○教師用タブレットでも全員のシートの内容を確認することができ、**意図的な指名も可能**になります。生徒一人一人の学びがどの程度成立しているのか把握することもできます。

◎本時の授業で先生は“**ファシリテーター**”として、問いかけ、ゆさぶりを繰り返し、**生徒の意見を引き出し、考えを深めさせて**いました。生徒が主体的・協働的に学ぶ姿があり、子どもたち主役の授業が展開されていました。

